

国 語 問 題 紙

経済学部 1 ・ 2 部

経営学部 1 ・ 2 部（経営学科）

2024 年 2 月 10 日

11：50 ～ 12：50（60 分）

注 意 事 項

—— 注意事項は裏表紙にもある。問題紙を裏返して必ず読むこと。——

1. 国語の問題紙は全 20 ページである。
2. 解答用紙は問題紙の中に折り込まれている。
3. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
4. 試験開始の合図があるまで問題紙を開いてはいけない。

試験終了まで退室してはいけない。

5. 受験番号の記入については裏表紙を参照すること。

次の文章を読み、後の設問に答えよ。

セクシュアルマイノリティとは、社会の想定する「普通」からはじき出されてしまう性のあり方を生きる人々のことです。少し硬い表現ですが、研究者は「非規範的」な性を生きる人々、という表現を使ったりもします。「規範 (norm)」から派生した言葉が「普通 (normal)」ですから、確かに「非規範的」＝「普通でない (とされる)」と言い換えられます (筆者の私が普通でないと考えているのではなく、社会が普通でないと考えていることがわかるよう、「普通」と鍵括弧つきで表記しています)。

したがって、セクシュアルマイノリティとは「普通」の性を生きろという圧力によって傷つく人々、と言い換えることができます。「普通」であることを押しつけられ望まぬ生き方を強いられたり、あるいは「普通」でないことをもってからかいやハイジ^aョの対象となる人々と言ってもよいでしょう。このような「普通」という暴力を、差別と言い換えることもできます。

そして残念なことに、二〇一七年現在、日本 (あるいは世界) におけるセクシュアルマイノリティに対する差別はイゼン^bとして根強いと言わざるを得ません。「普通」の性を生きろという圧力は、今も多くのセクシュアルマイノリティを傷つけているのです。したがって、「普通」という暴力を解除できないアプローチは、そもそもセクシュアルマイノリティについてのアプローチとしては不適切、ということになります。(ア)

ところが、「普通」という暴力の問題を取り扱うにあたって、学問というアプローチは一見それほど有効ではありません。政治や社会運動と比べて、「象牙の塔」という比喻でそのAを揶揄されることもある学問の領域が、直接「世の中をよくする」介入を不得意とすることは事実です。また、医療従事者や心理カウンセラーのように困っているセクシュアルマイノリティ当事者を直接支えるといったこともできません。学問は、介入や援助のBではなく、知識を扱う領域だからです (各種のBもまた実践に関する知識と言えなくもないのですが、ここでは単純にBと知識を対比させておきます)。

したがって、「普通」という暴力に対するアプローチとして学問が意義を持つと主張するためには、学問が扱うことを得意とする知識こそが「普通」という暴力を解除する鍵になると指摘する必要があります。(イ)

しかし、多くの人は、暴力や差別は知識ではなく「良心」や「道徳」で防ぐものだ、というイメージを持っています。

暴力や差別は他者への悪意を持つ人がおこなうものなので、悪意を持たないようにする・させることが重要だと考えているのです。もっと簡単な表現を用いれば、暴力や差別は「悪い人」がすることなので、みんなが「よい人」になればよい、と思っているわけです。たしかに、小学校や中学校で「差別をなくすために、他者に対する思いやりのある人になりましょう」と教育されることはあっても、「差別をなくすために、賢い人間になりましょう」とはほとんど言われません。ということはやはり暴力や差別の解消に必要なのは、「良心」や「道徳」であって、知識ではないのでしょうか？（ウ）

この問いに答えるために、「オネエキャラ」をめぐる私の授業の受講生の反応をとりあげます。「良心」や「道徳」を育むことに依存して「普通」という暴力を解決しようとすることは、不十分であつたり意味がなかったりするだけではなく、時に逆効果でもあることが明らかになるはずです。（エ）

二〇一七年現在、テレビを中心としたメディアの中で「オネエキャラ」が一定の存在感を放っていることを、受講生のほとんどが好意的に捉えています（私の授業を消極的にであれ「好んで」履修している学生が多いので、当然といえば当然ですが）。「オネエキャラ」の存在感がセクシュアルマイノリティへの差別を減らすと期待している学生も多くいます。もちろん多くの学生は、そのような「キャラクター」がメディアの中でからかいの対象となっていることにも気づいており、視聴者の差別意識を助長しかねないことも危惧しています。期末試験で「オネエキャラ」ブームの「功罪」について出題した際も、多くの学生は差別に関するリョウギ的な側面を上手く指摘していました。

一方で、自分の持つ好意に対して「オネエ」は才能やセンスがあるから好感が持てる」という理由づけをしている学生が多くいました。¹これはかなりの問題です。たしかに、メディアに現れる「オネエキャラ」は、ファッションやメイク、フラワーアレンジメントやダンス、あるいは話術などの一芸に秀でた人々が多いのは事実ですし、その才能やセンスの素晴らしさは、視聴するセクシュアルマイノリティ当事者（とくに若者など、アイデンティティの自己肯定の機会が奪われやすい人々）を自己卑下から救うことができるかもしれません。しかし、あれほどまでに才能に秀でていないと「受け入れられず」、さらにそれでもからかいの対象になってしまうとすれば、高水準の才能やセンスを持たない大多数のセクシュアルマイノリティは、むしろ自らがただ全面的にからかわれ差別される対象でしかない、と確信してしまうこともありえます。

当たり前のことですが、「オネエ」だから高水準の才能やセンスがあるわけではありません。ですから、「オネエ」は才

能やセンスがあるから好感が持てる」は、才能やセンスのない「オネエ」には好感が持てません、と宣言しているにすぎません。セクシュアルマイノリティに対する差別の根強い社会においては、表向きの好感とその背後の偏見の落差は、具体的なセクシュアルマイノリティの当事者に対する差別の解消に役立つことはほとんどなく、場合によってはさらに傷つけかねません。なぜなら、このような人々は「オネエ」を褒めているようで結局「オネエ」は「普通」ではない、ということをお繰り返して述べているにすぎないからです。「普通」という暴力は少しも解除されていません。

①、セクシュアルマイノリティ当事者の中には、このような才能とセンスの押しつけに嫌気がさしている人も多く存在します。例えば、「オネエはセンスがあるのでそういう友達がいい」という理由で誰かが近づいてきたら、「私を利用する気満々のあなたに差し出してやるセンスなどない」と拒絶したくなるものです。実は「オネエ（あるいはセクシュアルマイノリティ）はセンスがあるので、そういう人と友達になるため」という理由で私の授業を受講する学生も稀にいます。そういう人には「授業にそんなことを期待すべきではなく、またそもそもマイノリティはあなたの人生に豊かに彩るアクセサリーではない」ときつく論ずことにしています。「アクセサリー」扱いはそもそも相手に対等な人間として見ていない差別的なふるまいだからです。男性が妻の魅力を自らの高いステータスゆえの「C」だとみなしモノのようにジマンすること（「トロフィーワイフ」と呼ばれます）に、私たちはもう十分辟易しているはずです。それと同型の「モノ」扱いをセクシュアルマイノリティに対しておこなうことも、また許されるはずがありません。

②、ここで私は、「オネエ」あるいはセクシュアルマイノリティは、マジョリティと同じ「普通」の人々である、と指摘したいわけではありません。マイノリティもマジョリティと同じく「普通」の人々であるから差別してはいけない、という論理は、「普通」でないなら差別をしてもよい、の言い換えに過ぎないからです。

③ 重要なのは、「普通であるか否か」を判断し、そこに意味づけをするのがマジョリティの側、という事態そのものが不当なのだという認識です。「普通じゃないから好感が持てる」も「普通だから好感が持てる」も、意味づけが一方的である点で「普通じゃないから見下してもよい」「普通に過ぎないから見下してもよい」と大差ないのです。

④ 付け加えなければならないのは、²このような一方的な意味づけは、そもそもセクシュアルマイノリティについて知ることなしにおこなわれるということです。ここまで私がずっと意図的に曖昧なままにしてきた「オネエ」という言葉の用いられ方がまさにそのことを示しています。「オネエ」という言葉はそもそもどんな人を指すのでしょうか。自身の望む性別である女性に身体が合致するようになんらかの医療的処置を受けている人、恋愛の対象が同性の男性、女性の

恰好をすることによって安心感を得る男性、それとも言葉遣いが「女らしい」異性愛男性でしょうか。実際はいずれでもありえますし、いずれであるかの違いはかなり大きいのですが、残念ながらその違いを理解している人は少ないのが現状です。

セクシュアルマイノリティに対する無知が許されてしまっている状況は、「オネエ」という言葉一つとっても明らかです。私の授業ではかなり詳しくその違いを説明するので、先に話題にした学期末試験では「オネエキャラ」ブームの「罪」として「セクシュアルマイノリティの間の違いを暴力的に無視している」と指摘する答案にも多く出会いました。しかし他方では、まさにそのセクシュアルマイノリティの間の違いを全く把握していない答案も、残念ながら若干数存在していました。

セクシュアルマイノリティに対する無知に基づく一方的な（仮に肯定的なものであるにせよ）意味づけが批判されるべきなのは、単に知らないだけでなく、積極的に知らないままにしておこう、多様な性の正確な把握に踏み込まないようにしようという欲望に裏打ちされているからです。表向きの好感の背後で「自分とは関係のない、よくわからない人たち」という感覚を手放そうとしないギマン^e、とも言えるかもしれません。

（中略）

投影されるイメージを正確な知識で置き換えねばならないのは、このイメージが「知識」の名を騙る、言い換えれば差別が知^つた^かぶ^りの形をとって現れるからでもあります。（オ）

セクシュアルマイノリティに関するものに限らず、差別を批判された人が「私には○○の友達がいて○○について知っているから○○を差別するはずがない」というよくわからない独りよがりな言い訳をすることがあります。このような語り口は、黒人差別に関する議論の中で、「I have black friends」論法と呼ばれ批判されてきました。この論法は、「これは差別ではない」と主張するために被差別者について何かを「知っていること」を持ち出します。そのため、差別を知識によって乗り越えることができるという基本的な認識を共有しているともいえます。しかし、どんなことが分かっていたら「知っている」ことになるのかの基準を、「知っている」側が一方的に決めているので、実際には単に勝手なイメージが投影されるだけなのです。それゆえ、結局のところこの論法は差別の言い訳にしかありません。（カ）



裏を返せば、独りよがりで知ったかぶりの「いい人」アピールよりも、正確な知識を持つていることの方が、他者を差別しないためには重要なのです。じっくりと冷静に知識を得ることで、自称「いい人」から多くの人が脱皮することが、差別のない世の中を作る一番の近道だと、私は考えています。（キ）

（森山至貴『LGBTを読みとく——クイア・スタディーズ入門』による。ただし、一部変更した。）

問一 二重傍線 a と e のカタカナを漢字に直した場合と同じ漢字を含むものを、次の各群の中からそれぞれ一つ選び、符号で答えよ。

a
ハイジョ

- ア 経済の悪化により、移民ハイセキ運動が激化する恐れがある。
イ 主演映画がヒットして、彼女は人気ハイユウになった。
ウ 産業ハイキ物の不法投棄が問題になっている。
エ 彼は師匠を尊敬するだけでなく、スウハイしている。

b
イゼン

- ア 明日十四時から広報イインカイが開催される。
イ クーデター後、軍市政権はジイ運動を行う人々を弾圧している。
ウ 彼とは長い付き合いだから、イシン伝心でお互いの考えがわかる。
エ 先週イライされた仕事はまだ終わらず、あせっている。

c
リョウギ

- ア これより、婚礼のギを執り行います。
イ 出口調査によれば、与党はギセキを減らす模様。
ウ バレンタインに会社でギリチョコを配ることは禁止されている。
エ 災害のギセイ者に黙祷を捧げる。

d
ジマン

- ア 夏休みの自由研究でマンゲキョウを自作した。
イ 彼女の母はマンセイ疾患を患っている。
ウ 手厚いもてなしを受けて彼らはゴマンエツだ。
エ 疲れると注意力がサンマンになるので、休息は重要だ。

e
ギマン

- ア 裁判で嘘をつくときショウ罪に問われることになる。
イ 不安のあまり人を信じられなくなり、ギシン暗鬼になった。
ウ SNSを悪用した結婚サギが増加している。
エ 利用者のベンギを図るため、手続きを簡素化した。

問二 空欄 A に入る最も適切な語を次の中から一つ選び、符号で答えよ。

ア 専門性 イ 権力性 ウ 独創性 エ 閉鎖性 オ 信憑性

問三 空欄 B（三箇所）に入る最も適切な語を次の中から一つ選び、符号で答えよ。

ア 理論 イ 技法 ウ 経験 エ 手段 オ 構造

問四 傍線 1「これはかなりの問題です。」とあるが、なぜか。理由として最も適切なものを次の中から一つ選び、符号で答えよ。

ア 「オネエ」に才能やセンスがあるのは「普通」だが、そうした「普通」の基準から外れる「オネエ」にもっと同情することによって自己卑下から救うべきだから。

イ 相手が「オネエ」であろうとなかろうと、人が好意を抱く理由は才能やセンス以外の場合もあるから。

ウ 「オネエ」に才能やセンスがあるというのは単なるイメージであって、実際は才能やセンスのある「オネエ」はいないから。

エ 「オネエ」に才能やセンスがあると特別視することは、「普通」でない者としてからかうのと同様に、マジョリティが定めた規範から外れた者として扱うことだから。

オ 才能やセンスがある「オネエ」に対する表向きの好感は、背後にある偏見を意図的に隠すための理由づけだから。

問五 空欄 C に入る最も適切な語を次の中から一つ選び、符号で答えよ。

ア 戦利品 イ サラリー ウ 名誉 エ レッテル オ 昇格

問六 空欄 ①～④に入る語の組み合わせとして最も適切なものを次の中から一つ選び、符号で答えよ。

ア ①	そのため	②	もちろん	③	ところが	④	ゆえに
イ ①	現に	②	とはいえ	③	したがって	④	ゆえに
ウ ①	実際	②	ただし	③	むしろ	④	さらに
エ ①	そのため	②	とはいえ	③	ところが	④	さらに
オ ①	現に	②	ただし	③	むしろ	④	当然
カ ①	実際	②	もちろん	③	したがって	④	当然

問七 傍線 2「このような一方的な意味づけ」によって生じる問題を、著者はどのように表現しているか。本文中の傍線 2 より前の箇所からその表現を探し、九字（記号は一字と数える）で抜き出して答えよ。

問八 傍線3「結局のところこの論法は差別の言い訳にしかありません」とあるが、なぜか。理由として最も適切なものを次の中から一つ選び、符号で答えよ。

ア 黒人の友達を通して被差別者についての知識を得られたとしても、黒人差別以外の差別についての知識を得られないのは問題だから。

イ 被差別者の友達がいれば被差別者について知っていることになるが、それを活かすことができれば意味がないから。

ウ 被差別者の友達がいれば差別者にはならないと主張する人は、本当の友情を育めていないから。

エ 被差別者についての知識の妥当性を差別者が判断しているから。

問九 本文には次の一文が抜けている。この文を入れるのに最も適切な箇所を（ア）～（キ）の中から一つ選び、符号で答えよ。

言い換えれば、多様な性に関して、「世の中をよくすることやそれぞれの人々の生を支えることは、知識という基盤がなければ不十分である」と主張できなければなりません。

問十 次の文のうち、本文の内容と合致するものを二つ選び、符号（ア～カの順）で答えよ。

ア メディアが「オネエ」タレントを多く取り上げ、セクシュアルマイノリティの存在を可視化することは、偏見を強化する可能性も持つ。

イ 自認する性に身体を合致させようとする者、男性同性愛者、女性装の男性や言葉遣いが女性的な異性愛男性の間の差異を捨象して名指すことができる言葉は、セクシュアルマイノリティへの理解を促進するために積極的に使っていくべきだ。

ウ 差別をなくすために学問が大切なのは、道徳や良心を強化するためである。

エ マイノリティに対する差別の解消のためには、道徳や良心に頼るだけでは不十分であり、親交を通してマイノリティを知ることが何よりも重要だ。

オ マイノリティについての正しい知識がなければ、マジョリティは何が「普通」かを決めることはできない。

カ たとえよいイメージであっても勝手なイメージをマイノリティに押しつけることが批判されるべきなのは、無知を放置し、マイノリティを理解しないままにいたいという欲望に支えられているからである。

次の文章を読み、後の設問に答えよ。

新聞を毎日読みますか、テレビでニュースを見えますか。

社会的な出来事に関心があるかないかが分かれ目だ。まあ、新聞やニュースは見ないけれども、ファッション誌やマンガ雑誌なら欠かさず買って読むところがあるが、大方だろうな。

A、これらはすべて、人々に何がしかの情報を提供するメディアだ。「メディア」とは、「媒体・手段」の意味で、情報の媒体、情報提供の手段ということだ。だから、新聞から雑誌、テレビ、インターネットまでの全部がメディア、だとすると、現代生活のすべてがメディアによって成り立っているということになる。このことについて、君はどう考える？

たぶん、もうそんなことは当たり前のことになっているのだろう。テレビを見るのもマンガを読むのも、ものごとについて以来やっていることだものね。加えて、この頃はケータイやパソコンでメールのやり取りだ。当たり前になっているメディアの存在と意味について、一度考えておく必要があるんじゃないだろうか。今考えておかないと、ひょっとしたら一生考える機会はないかもしれない。だとしたら、君は、取り返しのつかないお馬鹿さんになっちゃうかもしれないよ。よくも悪くも現代は情報の時代だ。君は当たり前¹に思っているだろうけれども、地球の裏側で戦争をやっている映像を生放送で見るなんてことは、とんでもないことなんだ。百年前を思っ¹てごらん。電話もテレビもなかった時代には、国内どころか隣り村で起こっていることすら、そうすぐには知られなかったんだから。たったの百年でこの変化だ。この変化のことを「進歩」だと、君は思うだろうか。

もしも進歩だと思ふのなら、地球の裏側の戦争のことを知ることが、君にとって意味のあることでなければならぬ。地球の裏側の戦争は、君にどんな関係があるかしら。

身内や知り合いがそこにいるとでもいうのでなければ、まあまず関係ないよね。関係ないのになぜ君はその映像を見るかしら。人が死んだりビルが倒れたりしている映像を見ることは、君にとってどんな意味があるかしら。

衝撃的、刺激的、つまり見たいから見てい¹るということだね。これは、テレビがなかった時代に、人がよその火事を見るに走る心理と同じ、つまり野次馬根性だ。でも、他人の不幸を刺激するのはあまりいい趣味じゃない。その証拠に、次に始まる下品なお笑い番組なんかを見て、平気で人は笑ってるだろ。戦争からお笑いまで、全部が一律に電波で流される

から、人は、大事なことで大事でないことの区別がつかなくなっちゃうんだ。

私は戦争のことは大事なことでわかります、地球上のいかなる戦争も私とは無縁ではないから、戦争の悲惨を知るために、それを知る必要があるのです。真面目な君なら言うかもしれない。頼もしいね。でも、だとしたら、なぜ戦争というものが起こるのかということ、自分で考えなければならぬということもわかるよね。目に見える映像を追うのではなくて、目に見えない観念の動きを捉えることだ。外界を疑って、内界を見入る^aことだ。でも、今や世のほとんどの人は、外界から与えられる大量の映像情報をただ受け取るばかりで、見えない内界を自力で考えるなんてことは忘れ果てているんだ。

ちまたにあふれる情報には、本当のものとウソのものがある。だから、情報に踊らされないためには自分で判断できるようにしなければならないと言う人もいる。つまり、ある新聞では戦争している国の一方が正しいと言い、別の新聞では他方が正しいと言っている、新聞の言うことをうのみにしないで、自分で判断しようと。

B、戦争している国のどっちが正しいかなんてことを、そもそも判断することができるものだろうか。しょせん人間のすることだ。どちらにも言い分はあるというそれだけのことだ。もしも日本に戦争が起ったとしたら、君が知るべきことは、どちらが正しいか、ということではなく、その中で自分はいかに正しく生きるのかということではないだろうか。つまり、「正しい」とは、そもそもどういうことなのか。それ以外に人間が人生で知るべきことなどあるだろうか。

情報はしょせん情報だ。情報には本当もウソもある。事実か事実でないかということもある。本当のこと、真実というのは、外から与えられて知るものではなく、自ら考えて知るものだからだ。自ら考えて知るより、知りようがないものだからだ。

ア

自ら考えて知ることだけが、「知る」ということの本当の意味だ。情報を受け取って持っているだけの状態を、「知る」とは言わない。正しく生きるとはどういうことか、生きているとはどういうことかという、人生にとって最も大事なことにについての知識は、新聞にもネットにも書いてない。書いてあることもあるけれども、それを受け取って持っているだけで、自ら考えているのでなければ、あくまでもただの情報だ。情報は知識ではない。ただの情報を自分の血肉の知識とするためには、人は自分で考えなければならないんだ。

C、地球の裏側の戦争の情報をすることは、人生の大事なことを考えるためのきっかけにはなるだろう。でも、その前にはやはり、考えるとはどういうことなのかを理解していなければならぬはずだ。そうでなければ、何のための情報だろう。メディアが手段だというのは、その意味では正確だ。しかし、今や世の人は、何を何のために知りたいのかを考えもせず、とにかく知りたいのだと、情報を追いかけてホン走^bしている。手段の目的化という完全な本末顛倒だ。

生きるためには、今や情報は絶対に必要なんだという人が大半だ。実社会で仕事をしている人たちは、毎日毎瞬目まぐるしく変化する株式情報などを追いかけていないと、仕事にならないんだ。でも、だからと言って、仕事をするために生きているのか、生きるために仕事をするのか、何のために生きているのかという、人生にとって最も大事なあの問いと、問いの答えとしてのその知識とは、少しも変化していない。ここではつきりとわかるだろう。情報は変化するものだけれども、知識というのは決して変化しないもの、大事なことにについての知識というのは、時代や状況によっても絶対に変わらないものだということだ。

イ

考えてごらん。電話もテレビもなかった百年前も、何もなくて自然とともにあった五千年前も、そして、ネットだグローバルだの現代世界も、人が生まれて、生きて、そして死ぬという事実については、まったく同じなんだ。何ひとつ変わっていないんだ。生まれて死ぬ限り、必ず人は問うはずだ、「何のために生きるのだろう」。数千年前から人類は、人生にとって最も大事なこの問いについて、考えてきた。考え抜いてきたんだ。かしこい人々が考え抜いてきたその知識は、新聞にもネットにも書いてない。さあ、それはどこに書いてあると思う？

古典だ。古典という書物だ。いにしえの人々が書き記した言葉の中だ。何千年移り変わってきた時代を通して、まったく変わることなく残ってきたその言葉は、そのことだけで、人生にとって最も大事なことは決して変わるものではないということを告げている。それらの言葉は宝石のように輝く。言葉は、それ自体が、価値なんだ。だから、言葉を大事に生きていることが、人生を大事に生きるということに他ならないんだ。

ウ

お笑い番組でタレントが下品なギャグをしゃべりちらしているのを聞いて、君は、大事なことを聞いた、と思うかい？ だらしない大人たちが自分の悪ギョウ^cを厚くましく言い訳しているのを聞いて、なんて美しい言葉なんだ、と思うかい？ ああいう人々が下品であり厚くましくもあるのは、彼ら自身が話している言葉通りじゃないか。言葉がその人そのもの

じゃないか。下品で厚かましい人生を生きることが、どうして人生を大事に生きていることになるだろう。

D

言葉は大事にしなくてはならないんだ。語る言葉の一言一句が、君という人間の品格、君の価値なんだ。

ネットでおしゃべりする時には、うんと気をつけてするがいい。くだらない言葉を書きちらすほどに、君はくだらない人間になる。君の人生は価値のないものになる。それは、せっかく持っている宝石の数々を、それと知らずにドブに流しているようなものなんだ。

そんなふうに、言葉の価値を知らずにいるから、最近は人々が本を読まない。マンガはよく読まれているようだけれども、でも、たとえば、マンガにセリフというあの言葉がなかったらと想像してごらん。君の大好きな、大事なことを学んだそのマンガでも、その大事なことは、やっぱりそのセリフという言葉によって学んだことのはずだ。マンガですらも、言葉がなければ、何を言うこともできないんだ。言葉と人間とがいかに分けられないものであるか、よくわかるだろう。

エ

しっかり考えて、かしい人間になりたいのなら、やっぱり本を読むのがいい。むろん、どんな本でもいいというわけじゃない。本物の人が書いた本物の本だ。メディアのサク略^dで流行になっているような本は、まず偽物だ。だまされないように、見る目を鍛えて。

絶対に間違いがないのは、だからこそ、古典なんだ。古典は、考える人類が、長い時間をかけて見抜いた本物、本物の言葉なんだ。消えていったイク千^eの偽物、人の心に正しく届かなかった偽の言葉の群の中で、なぜその言葉だけは残ってきたのか、はつきりとわかる時、君は、いにしえのケン人^fたちに等しい知識を所有するんだ。これは、ネットでおしゃべりするなんかより、はるかに素晴らしいことじゃないか。

(池田晶子『14歳からの哲学―考えるための教科書―』トランスビュー所収「メディアと書物」による。

ただし許諾を得て一部変更した。)

問一 二重傍線 a ～ f のカタカナを漢字に直した場合と同じ漢字を含むものを、次の各群の中からそれぞれ一つ選び、符号で答えよ。

a 見ス_二える

- ア 向こう側がス_二けて見える。
イ 版画をス_二る。
ウ 後続の車をやりス_二ごす。
エ 腹のス_二わった人。
オ 用事をス_二ます。

b ホン_二走

- ア 人のホン_二性を見抜く。
イ 謀ホン_二を企てる。
ウ ライバルをホン_二弄する。
エ 自由ホン_二放な性格。
オ 戸籍謄ホン_二をもらう。

c 悪ギョ_二ウ

- ア ギョ_二ウ天するようなニュース。
イ 冬空のギョ_二ウ星を仰ぎ見る。
ウ ギョ_二ウ儀の良い子ども。
エ ものすごいギョ_二ウ相で睨む。
オ 相手をギョ_二ウ視する。

d サク_二略

- ア 一サク_二日のできごと。
イ 情報がサク_二綜する。
ウ その方法は得サク_二ではないと思う。
エ 爆弾がサク_二裂する。
オ 余計な文字をサク_二除する。

e
イク千

- ア 人材をイク成する。
- イ 全員がイク同音に彼を褒める。
- ウ あいつはイク地なしだ。
- エ イク重にも重なった布。
- オ 話を聞いて得心がイク。

f
ケン人

- ア ケン当違いの方向。
- イ その件については明日ケン討します。
- ウ 彼はいつもケン遜している。
- エ ケン著な特性を見つける。
- オ それはケン明な方法だ。

問二

傍線1「とんでもないこと」について、なぜそう言えるのか。その理由について述べられている一文を本文中から見つけ出し、その始めと終わりの五文字（句読点を含む）を抜き出して答えよ。

問三

傍線2「君が知るべきことは、どちらが正しいか、ということではなく、その中で自分はいかに正しく生きるのかということ」とあるが、ここで著者が主張していることとして最も適切なものを次の中から一つ選び、符号で答えよ。

- ア ある新聞は戦争している国の一方が正しいと言い、別の新聞では他方が正しいと言うことがあるので、新聞の言うことをうのみにせず自分で判断することが大切だ。
- イ どちらの国が正しいか情報に基づいて判断するということではなく、「正しい」ということがどういうことを自力で考えることが大切だ。
- ウ 情報に踊らされないために、自分で正しい情報が何かを判断できるようになることが大切だ。
- エ 地球上のいかなる戦争も自分とは無縁ではないわけだから、戦争の悲惨を知るために、戦争のことを知る必要がある。



問四 傍線3「あの問い」に含まれる内容とはどのようなものか。最も適切なものを次の中から一つ選び、符号で答えよ。

ア 自分はいかに正しく生きるか、「正しい」とはどういうことかという問い。

イ 戦争している国のどつちが正しいかをどう判断するかという問い。

ウ 現代生活のすべてがメディアによって成り立っているということについてどう考えるかという問い。

エ 現代では当たり前になっているメディアの存在と意味とは何かという問い。

問五 空欄A～Dに入る言葉として最も適切なものを次の中から一つ選び、符号で答えよ。

A

ア つまり

イ それゆえ

ウ とりもおさず

エ それにもかかわらず

オ いずれにせよ

B

ア だから

イ けれど

ウ そして

エ けだし

オ 例えば

C

ア やはり

イ そもそも

ウ なるほど

エ ところが

オ そういうわけで

D

ア けれど

イ だから

ウ それでも

エ そのくせ

オ しかし

問六 傍線4「言葉は大事にしなければならない」について、なぜそう言えるのか。その理由として本文の内容に合致するものには1を、合致しないものには2を答えよ。

ア 言葉それ自体には価値はないが、言葉を大事に生きることが人生を大事に生きることになるから。

イ 言葉は身近でありふれた存在ではあるものの、それはその人そのものだと言えるものだから。

ウ 言葉の一言一句が自分自身の品格や価値であり、くだらない言葉を書きちらせば、その分自分の人生は価値のないものになるから。

エ 下品で厚かましい言葉を話すことは、人生を大事に生きていることになるとは思えないから。

問七 本文中の「内界」または「外界」という表現について説明しているものとして、本文の内容に即して最も適切なものを次の中から一つ選び、

符号で答えよ。

ア 内界とは自分なりに作り出した考えがある自分の内側の世界のこと、目に見えない観念があるところ。

イ 内界とは日頃意識をしない自分の身の回りの世界のこと、目に見えない観念があるところ。

ウ 外界とは戦争などが起こっている国外のこと、目に見える映像はここからもたらされる。

エ 外界とは自分にもたらされる情報の出どころとしての自分の外側の世界のこと、本当の情報はここからはもたらされない。

問八 本文には次の段落が抜けている。これを入れるのに最も適切な箇所を本文中の空欄ア～エの中から一つ選び、符号で答えよ。

これは本当に大事なことを言っているんだよ。君は、言葉なんて誰でもしゃべれるし、新聞もネットも世の中は言葉だらけだし、そんなものがどうして大事なのかと思うだろう。だからこそ、なんだ。

問九 本文では「知識」とはどのようなものだと説明されているか。その説明として本文の内容に合致するものには 1 を、合致しないものには 2 を答えよ。

ア 外から与えられて知るものではないもの。

イ 時代や状況によって変化していくもの。

ウ 生きるために今や絶対に必要なもので、常に追いかけていなければならない。

エ 自分で考えることによって得られるもの。

問十 著者が主張していることについて、本文の内容に合致するものには 1 を、合致しないものには 2 を答えよ。

ア 新聞のようなメディアは、自分で判断しなければいけないところはあるものの、正しい知識を与えてくれる。

イ 古典の中には、移り変わる時代を経て変わらなかった事実が記されていて、それだけで価値のある情報を私たちに提供してくれる。

ウ 古典は本物の人が書いた本物の本であり、そこにはいしえのケン人たちによる知識が書かれている。

エ 情報を追いかけて遠い場所で起こっていることを知ることは、大事なことにについて考えるきっかけにしかない。

(こ の ペ ー ジ は 白 紙 で す)

《注 意》

採点・集計などのさいに受験番号の読み間違いが生じないように、受験番号はつぎの点に注意して記入すること。

1. 受験番号は2箇所に入力する。
2. HBの鉛筆・シャープペンシルを使って、1マス1字ずつはっきり書く。
3. ほかの数字とまぎらわしくないように書く。

良い例	1	3	4	5	6	7
悪い例	1(7)	3(8)	4(6) 4(9)	5(6)	6(4)	7(1) 7(9)

それぞれ（ ）内の数字と誤解されやすい。